

何を求めているのか。(38)

ヨハネによる福音書 I 章 35～42 節

「先生、どこに泊まっておられるのですか」



バプテスマのヨハネ



ラ・トゥール「聖アンデレ」

シモン・ペトロの兄弟 アンデレ。(40)

初めに呼び出された者。(アンデレを称し、初代教会で)

華やかなこと——

それは、この私たちが何という名前なの人間かをを教え、知らせます。

目立たないこと——

それは、この私たちがどんな質しの人間かをを語って示します。

耳の中に目を突っ込みなさい。



ルーベンス「ペトロ」

マルティン・ルター

1483～1546年

元・カトリックの修道士、神学者。

宗教改革の中心人物で、プロテスタント教会誕生のきっかけをつくった。



グレコ「福音書記者 聖ヨハネ」

ウィリアム・バークレー

1907～1978年

イギリス・スコットランドの新約聖書学者。

The Daily Study Bible (邦訳『バークレー 聖書註解シリーズ』) で有名。

説教者は一つの説教のため、週に4度の朝をその机で迎える。そして、そこから何物かを生み出すまでは、そこを立つことはない。もし説教の内に火を焼くべることができないなら、その説教こそが火に焼べられるであろう。

一人の非行兇がいるところ、そこにはもう一人、異常兇がいる。——教育の世界で

人間が当たり前の仕事をしているのに、何も不思議はない。車屋は車を引き、豆腐屋は豆腐をこしらえ、当たり前仕事をしている。褒めるといふなら、まず隣の豆腐屋から褒めてもらわなければならぬ。そんなことは一切よしなさい。——福澤諭吉 (1835～1901年)

彼女がこの世に生を受けて以来、夫婦が犠牲を受けるのは当然としても、長男にも重荷となり、婚期まで逸して、妹の面倒を見てくれる。天は人間を平等につくっておられると思いながら、現実には、五体満足な人と身障児とでは苦しみ、悩み、痛みの重みに差別があるように思えることがあるのです。

しかし、この違いこそが実は、天がわたしたち人間に与えた^{しん}真の平等ではないかと心を慰めており、その苦悩を恥じらい、痛みを耐え抜く試練を通して、個人としても家族としても、生きる尊い人間としての基本理念と^{きずな}絆を与えられるように思うのです。

——先天性^{しょうにまひ}小児麻痺の娘さんを持つ一主婦

兄弟姉妹、ぜひ憶えていたいのです。キリストの十字架の足もとではまさに、その地面は平らなのです。そこに、上下の高さはありません。

——教会の入会式の折の 一牧師の言葉

アンデレ：紀元60年、ギリシアのパトラエで殉教。

「X形」の十字架による^{たっけい}磔刑。

「X」はギリシア語「キリスト (^くΧριστός)」の頭文字。
最初の家族伝道者、国内伝道者、国外伝道者。



ロルチ「聖アンデレの十字架刑」